

くさのみだより

No.79 (2021年2月)



くさのみ作業所 (開所当時)

- ～目次～
- 理事長、後援会長挨拶 ①②
- くさのみ作業所誕生まで
- 福祉会のあゆみ ③④
- 障害者週間・イエローシート
- NPOふくし文化塾はつかいち ⑤
- 福祉会后援会入会更新お礼
- 寄付献品お礼・編集後記 ⑥
- きょうされん第44次
- 署名募金活動ご協力のお願い ⑦
- 福祉会后援会入会更新お礼

医療に従事されている方々へ
感謝のメッセージ



くさのみ作業所 (現在)

歩みは続くこれからも!

秋保 喜美子

二〇二一年 また新しい年が始まった
くさのみ作業所は三十五周年を迎えた
はたあせんで二十歳前後だった人がもう五十代
りようすねんれいさうははひゅうねんりん
利用者の年齢層にも幅広い年輪が...
職員世代交代もあり
作業所開所当時のことを語る人は少なくなった
作業所近くの風景も年々変わり
季節を感じるたんぼや畑がなくなった
それぞれの人生が
作業所の歩みの中に綴られた三十五年
嬉しかった事 楽しかった事 悔しかった事 悲しかった事
その歳月は
一昼夜かけても語りきれないほど 思い出があふれ出る!
作業所は多くのひととの出会いをつくる素敵能力が育つ!
一人ひとりの夢や願いが
長い歲月の中で 一つまた一つと
障がいのある方を支えるために必要な基盤づくりが
着実に叶えられ続けている
簡単にはできないけれど
これからも笑顔の輪が もっともっと広がって欲しい!
地域のみなさん 応援してください!



「くさのみ作業所35周年を迎えて」

社会福祉法人くさのみ福祉会
理事長 川本 義弘

今から35年前、重度障がいのある人が、学校卒業後に働く場は皆無という状況の下、障がい当事者やそのご家族の、住み慣れた地域で「働きたい!」、「友達がほしい!」、「生きがいのある生活をさせたい!」という、ごく当たり前の願いを実現するため、行政の理解と支援も得ながら関係者が力を合わせ、くさのみ作業所(無認可)は開所しました。

毎年のように、廿日市養護学校の卒業生受け入れを行いつつ、法人化に向けての取組や運動を続けた結果、27年前に「社会福祉法人くさのみ福祉会」の設立が認可され、定員40名の法人認可施設として新たなスタートを切りました。以来、当事者の夢や願いの実現をめざし一步一步進めて参りました。

35年の歩みを経て、今日があるのは、行政の理解、支援はもとより、当事者や家族の願いを受け止め、福祉会全職員が一生懸命に取り組んできたこと、そしてその姿や思い、悩みに共感し、物心両面で支えてくださった後援会の役員や会員、ボランティアの皆様などのご支援があったからこそ、心から感謝いたしております。

みんなで築き上げてきたこの「地域の財産」を守り、障がいのある人一人ひとりが、これからも「地域の一員」として、自分らしく、笑顔で輝ける人生を送ることができるよう、職員一同、より一層、努力して参りたいと考えております。今後とも温かいご支援、ご協力をお願いし、35周年を迎えてのお礼のご挨拶とさせていただきます。

くさのみ作業所誕生まで

くさのみ作業所は、障がいの種別・程度に関わらず、すべての障がいのある人たちが作業所の主人公として、いきいきとした活動、人間らしい豊かな発達と労働を保障することを目指してスタートしました。

ここでは、社会福祉法人くさのみ福祉会として認可されるまでの16年間をご紹介します。

「くさのみ教室」始まる

1978(昭和53)年に廿日市養護学校(現廿日市特別支援学校)の先生と高等部4名の生徒とで、旧宮内保育園の空き教室で作業実習を始めました。

その後、中学部の生徒や地域の中学校の障害児学級の生徒も加わって「くさのみ教室」としてスタート。週2回活動していました。



金具作業、
しいたけ作業
畑仕事など

保護者や地域の協力

しいたけの原木の切り出しや畑の開墾など地域の方の力も借りながら、みんなで取り組みました。また、「遠くの施設ではなくて家から通うことのできる場所をつくろう!」と、わが子の将来を思い、保護者が手作りの作品等を販売し、作業所開所のための資金作りもがんばりました。



お昼ご飯30人分は保護者の手作り!

資金作りのためのパザー



「これからも地域と共に」

くさのみ福祉会
後援会
会長 飯盛 豊

くさのみ福祉会後援会は、くさのみ作業所が無認可の時代から「作業所を育てる会」として、共に歩んで参りました。後援会はくさのみ福祉会の発展を、地域住民の立場から支えることを目的としています。

当時の法人認可施設建設に向けての取組では、利用者家族や後援会役員を中心に、施設建設用地の確保など、行政への働きかけをはじめ、利用者家族、職員も力を合わせ、自己資金として必要な3千万円を目標に掲げて、廿日市地域（当時、廿日市町）の各企業や団体、各町内会へも募金のお願いを行うなど精力的に活動を行いました。おかげ様を持ちまして、地域の皆様のご支援、ご協力により、法人認可施設建設にも貢献することができました。

法人化以降も、後援会の広報紙としての「くさのみだより」の発行や、地域と共同しての「くさのみまつり」開催、後援会員の拡充やくさのみ福祉会の事業活動の周知、障がい福祉向上に向けての啓発活動、当事者・家族の切実なニーズを踏まえた新規事業開始のための施設整備資金の確保など一定の役割を果たして参りました。

これまでのご支援に対し、心からお礼申し上げますとともに、くさのみ福祉会の事業内容、後援会の目的をご理解いただき、後援会への新規・継続加入についても、何とぞよろしくお願い申し上げます。

1978(昭和53)年～1994(平成6)年



「くさのみ作業所」誕生！

1986(昭和61)年1月、旧宮内保育園の建物をお借りし、旧廿日市町に初めての無認可作業所「くさのみ作業所」が誕生しました。6名の利用者と2名の職員で家庭的な雰囲気での作業所生活が始まりました。仕事だけでなく、楽しい行事も行い、地域のみなさんとの交流も深めていきました。



開所式



1周年の集い



もちつき



くさのみまつり

夢は法人化！

開所以降、通所希望者が後を絶たず、作業室も手狭になり、「重度障がい者の福祉を担う拠点としての認可施設が必要！」という利用者・家族の願いが高まり、法人設立準備委員会が結成されました。

多くの市民のみなさんや行政から心温かい支援が寄せられ、認可作業所建設に向けて動き始めました。



ふくし かい ～くさのみ福祉社会のあゆみ～

1994（平成6）年に「社会福祉法人くさのみ福祉社会」として認可され、地域住民のみなさんや行政のご理解、ご支援をいただき、今日まで歩んできました。
その軌跡をご紹介します。

ねん年	つき月	えん治	かく革
1994 (H6)	6	「社会福祉法人くさのみ福祉社会」が認可される。	
	8	日本自転車振興会からの「公益事業振興補助事業補助金」の交付が確定し「くさのみ福祉社会くさのみ作業所」の建築工事着工。（翌年2月に建築工事終了）	
1995 (H7)	4	社会福祉法人くさのみ福祉社会 知的障害者通所授産施設「くさのみ作業所」開所。（定員40人） 「くさのみ福祉社会後援会」発足。	
1997 (H9)	5	ショートステイ事業運営委員会発足。 ショートステイ事業開始。	
1999 (H11)	10	グループホーム「ムックハウス」開設。	
2000 (H12)	10	グループホーム「L & B」開設。 県から「障害児(者)地域療育等支援事業※1」を受託。 「地域生活支援センターすまいる※1」を開設。	
2001 (H13)	3	未就学児を対象とする親子教室「おひさま教室」を開始。 (月1回開催)	
2002 (H14)	10	グループホーム「ホープ」開設。	
2003 (H15)	4	「こどもの発達支援センターすまいる※1」開設。	
	11	身体障害者小規模通所授産施設「ピクトハウス」開設。	
2005 (H17)	4	「児童デイサービスくれよん※1」開設。	
2006 (H18)	6	「児童デイサービスオレンジクラブ※1」開設。	
	10	廿日市市から「障がい者相談支援事業・機能強化事業」を受託。	
	11	広島市から「県立廿日市養護学校放課後対策事業及び障害児いきいき活動事業」を受託。	
	12	「くさのみ20周年感謝の集い」を開催。	
2007 (H19)	4	佐伯地域の作業所「夢工房」が、くさのみ福祉社会に「ピクトハウス」とともに新事業体系移行。多機能型（生活介護、就労継続B型）として開始。	



ねんがん にんか しせつ かんせい
念願の認可施設が完成！



ホームの生活（ムックハウス）



ピクトハウス（平良）



しゅうねんかんしゃ つど
20周年感謝の集い



ゆめこうぼう くしま
夢工房（玖島）

2008 (H20)	5	グループホーム「ハートインハウス」建設。最大10名利用（ホーム6名、ショートステイ4名）。	
2009 (H21)	3	「ピクトハウス」作業棟増築完成。 ショートステイ事業「SAIさん家」佐伯地域で開設。	ハートインハウス（阿品） 
	5	「児童デイサービスくれよん」→「発達支援教室くれよん阿品」 「児童デイサービスオレンジクラブ」→「発達支援教室くれよん地御前」にそれぞれ名称変更。	ピクト作業棟増築 
	6	廿日市市が、あいプラザ内に「廿日市市障がい福祉相談センターきらりあ」開設。市内4委託事業所（当法人すまいる※1）が、あいプラザ内に事務所移転。	きらりあ（あいプラザ3階） 
	7	グループホーム「さくら木荘」開設。	
	11	グループホーム「SAIさん家」開設。	
2010 (H22)	3	「くさのみ作業所」が新事業体系（生活介護事業）に移行。	
	4	「こどもの発達支援センターすまいる※1」が、あいプラザ内に事務所移転。	
2012 (H24)	3	「ハートインハウス」増築（4部屋）完成。	ハートインハウス増築 
	4	「すまいる」→「くれよん」に名称変更。	
	5	串戸作業場・「発達支援教室くれよん串戸」 グループホーム「串戸」「佐方」開設。	
	11	「相談支援事業所くさのみ」開設。	
2013 (H25)	3	「くさのみ作業所」増築完成。	くさのみ作業所増築 
2016 (H28)	4	児童発達支援センター 「広島西こども発達支援センターくれよん」建設。 「相談支援事業所くさのみ」に「地域相談支援センターくれよん」を統合。	広島西こども発達支援センターくれよん 
	11	「くさのみ30周年感謝の集い」を開催。	30周年記念行事 
2019 (H31)	3	「夢工房」耐震・リフォーム工事。 「ピクトハウス3号館」完成。	ピクトハウス3号館 

※1 当時の名称

事業所数20事業所、利用登録者数356名、職員185名（2021年2月現在）

“障害者週間” 啓発イベントに参加しました！



11事業所・3団体が参加(*^^*)

12月5日(土)、ゆめタウン廿日市にて開催された“障害者週間”啓発イベントに、くさのみ作業所とピクトハウスが参加しました。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、3階フロアスペースにて、各事業所の活動紹介・自主製品・芸術作品の展示のみを行いました。

コロナ禍で事業所の活動に色々な制限がありますが、展示を通じ、事業所のことや障がいのある方たちが地域で活躍している様子を知っていただくことができ、励みと

なりました。

毎年、場所をご提供いただいている、ゆめタウン廿日市様、本当にありがとうございました！

※障害者基本法では、障がいや障がいのある方に対する社会の理解と関心を深めるとともに、障がいのある方の社会参加の意欲を高めることを目的とし、毎年12月3日から12月9日までの1週間を「障害者週間」と定めています。



幸せの黄色いレシートキャンペーン ご支援、ご協力ありがとうございます！

毎月11日、ザ・ビッグ宮内店では「幸せの黄色いレシートキャンペーン」が行われています。これは、イオングループによる社会貢献活動で、レジ精算時に受け取った黄色いレシートを地域の団体名が書かれた店内備え付けのボックスに投函していただくことで、レシート合計金額の1%分の品物をイオンが各団体に寄贈する取り組みです。

くさのみ福祉会は、アルミ缶回収などでもお世話になっているザ・ビッグ宮内店の登録団体であり、毎年大きなご支援をいただいています。みなさんもザ・ビッグ宮内店を、ご利用いただき、ぜひご支援ご協力をお願いします。



投函ボックスは、1階サービスカウンター付近にあります



心からの敬意と感謝!! 「NPO法人 ふくし文化塾はつかいち」



きらっとひかる・アートはつかいち ~高齢者・障害者等芸術展~

ふくし文化塾はつかいち「福祉のこと」を学びながら、「福祉の心」を育み、「他者を思いやり、配慮ができる姿勢を身に付けていこう」との願いをもって、20年前に設立されました。住み慣れた地域で、安心して心豊かに暮らし合える「ふくし文化」の街づくりに向け、今日まで数々の活動(文化芸術活動、配食サービス、カレーサロン、相談・講座・学習活動、バザー活動、東日本大震災被災地支援活動など)を続けてこられました。

誠に残念ながら、会の中心メンバーの方々の高齢化により、昨年末で、その歩みに終止符(法人解散)を打たれました。地域福祉に多大な貢献をされたこと、くさのみ福祉会にもたくさんの応援をしていただいたこと、心から感謝申し上げます。

くさのみ福祉会後援会 更新、新規入会ありがとうございました。

令和2年10月～令和3年1月の間に手続きいただいた方々です。(順不同・敬称略)

《団体会員》

串戸四区町内会 合同会社しみず 河本一区町内会 桜尾二丁目町内会
 四季が丘上町内会 有限会社益田豊店 宮内・地御前地区民生委員児童委員協議会
 宮園・四季が丘地区民生委員児童委員協議会 有限会社創造建築設計社

《個人会員》

阿戸 啓之	安部 章広	石井 マイケル	石井 美子	石橋 丈治	磯部 瑞生	伊藤 美香
上田 和枝	上田 肇	宇佐川 絵実子	太泰 淑史	鶴殿 次郎	大澤 樹	岡村 由美子
尾崎 梨沙	小澤 哲男	小田 洋子	折口 由美	梶本 進	加永 小夜子	川越 俊雄
河野 公子	川本 晴美	神田 政晴	木下 千晶	木原 裕子	久保田 由美	熊安 由香里
黒川 美智子	小出 伸太郎	小坂 英資	小島 朋之	小玉 雅子	酒井 伸昭	佐々木 信江
佐々木 真弓	笹野 恵美子	澤山 義隆	澁川 十三明	清水 亮太	上賀 順一	高田 健一
高橋 かの子	田原 弘子	田淵 敬子	玉井 久美子	田村 泰彦	坪谷 理恵	殿納 智子
鞆 典子	中島 由博	中谷 智香子	中原 美奈子	中廣 愛里	中山 奈美	楯原 美作子
楯原 義行	鳴戸 悠希	二宮 聖奈	布田 直子	野田 美圭	野間 至	橋本 和博
花岡 悠	平木 容子	平中 優華	松尾 辰哉	松岡 芳実	丸水 淳治	三浦 宏幸
三谷 健二	三村 洋子	宮崎 優子	向井 彩子	村松 義道	森川 武志	安平 幸子
矢部 貴志	山下 治子	山田 とみ子	山根 香	弓場 勉	横路 昭恵	吉岡 隆治
						米田 信行

ご寄附・献品ありがとうございました

令和2年10月16日～令和3年1月31日受付分
 (敬称略 順不同)

ふくし文化塾はつかいち
 佐伯地区民生委員児童委員協議会
 カトリック廿日市教会 くさのみ福祉会後援会
 川西 信子 森國 義昭 山道 里枝子
 尾崎 洋子 匿名希望

～この他にも食材等いただいています～

◆編集後記◆

昨年はなかなか思うようにいかない年
 でした。でもそんな中、懐かしい出会いが
 ありました。中学の担任の先生との偶然
 の再会です。農業を始めておられ、大根や
 白菜をたくさんいただきました。先生のお
 かげでおいしい鍋を食べることができ、
 幸せです。
 食事をしっかりと、健康第一に今年
 も頑張りたいと思います。 C・Y

社会福祉法人くさのみ福祉会

〒738-0033 広島県廿日市市串戸五丁目3-22 TEL 0829-31-2800 FAX 0829-31-2900

通所事業部：くさのみ作業所・ピクトハウス・夢工房

廿日市特別支援学校放課後いきいき対策事業

生活事業部：ムックハウス・L & B・ホープ・ハートインハウス

(グループホーム・ショートステイ) さくら木荘・SAIさん家・串戸・佐方

相談支援事業部：相談支援事業所くさのみ(※委託：廿日市市障がい福祉相談センターきらりあ)

発達支援事業部：広島西こども発達支援センターくれよん

くさのみ福祉会後援会 TEL0829-31-2800 FAX0829-31-2900

きょうされん 第44次

国会請願署名・募金活動に

ご協力ください！



同封してあります署名用紙の内容にご賛同いただければ、ご署名の上、封筒に入れてそのまま投函してください。(切手は要りません。)

障がいがある人もない人も、誰にとっても暮らしやすい地域づくりを目指しています。皆様のご協力をよろしくお願いいたします！



※ご記入いただいた個人情報、国会請願以外には使用いたしません。

くさのみ福祉会では職員を募集しています！

色々な働き方(常勤勤務・短時間勤務)が可能です。

ハートがあれば未経験の方でも大丈夫です！
ぜひ、お気軽にお問い合わせください。



社会福祉法人 くさのみ福祉会 社会福祉法人 くさのみ福祉会

リニューアル!!

くさのみ福祉会ホームページ

<https://kusanomi.org>

または

くさのみ 🔍

で検索♪

スマホからは



ホームページQRコード



お問い合わせ先
くさのみ福祉会本部 (0829)30-9303 まで